



## 皆で力を合わせて取り組もう

校長 大槻 亨

今年は例年より少し長い44日間という長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が本格的に始まりました。この夏休みは、三者面談、夏の学習教室、部活動、10組の水泳教室、そして、1年生はイングリッシュキャンプなど多くの行事や活動を行いました。夏の学習教室に参加した生徒は、1学期の復習や夏休みの宿題に取り組んでいました。本校の学習教室は、教員の他に地域のボランティアの方々にご協力いただき実施しています。一人一人の生徒の質問や相談に丁寧にご助言をいただける環境が整っており、確実に力を伸ばしていける体制となっていることは大変ありがたいことです。

この夏休みは、不安な出来事と感動の出来事がありました。まず不安な出来事とは、「南海トラフ臨時情報」が初めて発表されたことです。8月8日に宮崎県沖の日向灘を震源とする地震があり、宮崎県日南市では、最大震度6弱を観測しました。南海トラフ地震というのは、静岡県駿河湾から九州東沖まで伸びる震源想定域で起こる地震で、マグニチュード8~9の巨大地震のことです。今回は、その震源想定域の中で発生しました。この震源想定域では100年から150年間隔で巨大地震が繰り返し起こっており、30年以内の発生確率は70~80%といわれてきています。要警戒の期間は過ぎて、臨時情報は解除されましたが、地震の発生の可能性がなくなったわけではありません。引き続き、警戒が必要です。

9月1日は防災の日で、関東大震災にちなんだ日です。また、8月30日から9月5日までは「防災週間」でもあります。学校では避難訓練などを通して安全指導を行っています。この機会に大きな地震や災害があったときに、自分はどのように行動するべきか、ご家庭でもよく話し合う必要があると思います。

夏休み中に大きな感動を呼んだのは、パリで開催されたオリンピック・パラリンピックです。個の力と団結の美しさや素晴らしさを最高のパフォーマンスで見ることができ、感動の連続でした。東京大会に続き、10代の若手選手らの活躍が目立ったことが印象的でした。特に、オリンピックでは卓球の張本美和選手をはじめ、スケートボード、水泳、飛び込み、女子サッカーなど、多くの選手の活躍がありました。生徒たちと同年代の選手の活躍は、中学生の無限の可能性を感じさせる出来事です。

私は、オリンピック・パラリンピックで、力を合わせて戦う選手の姿にいつも感動を覚えます。それは、団体競技のみならず、個人競技においても同様です。競技を終えた選手からは、一緒に戦った仲間のみならず、これまでに指導を受けた監督やコーチ、支えてくれたスタッフや家族への感謝の言葉が聞かれます。その言葉からは、選手を取り巻く人々との強い絆を感じます。選手たちは、一人で戦っているのではなく、周囲の人々と強い絆で結ばれ、心を一つにして戦っているのだと感じるのです。だから、逆境にも負けないのだと思うのです。

生徒一人一人は、みんな違ったよさや特性をもっています。その一人一人が、集団として一つの目標に向かって行動をするとき、互いを尊重し合い、支え合い、励まし合えることで、個にはない力を発揮することができるのだと思います。例え失敗しても、その失敗を責めるのではなく、支え、励ます集団づくりが大切だと思います。

ています。10月に行われる合唱コンクールに向け、皆で力を合わせることの素晴らしさを実感してほしいと思っています。

保護者の皆様におかれましては、生徒たちへの励ましとご支援・ご理解をお願いいたします。

## 《全国学力量習状況調査結果について》

### ■全国学力量習状況調査結果（平均正答率）

教科	平均正答率			知識・技能			思・判・表		
	本校	東京都	全国	本校	東京都	全国	本校	東京都	全国
国語	64.0	61.0	58.1	69.2	64.4	62.0	60.7	58.6	55.4
数学	62.0	57.0	52.5	74.0	67.3	63.1	36.4	34.2	29.3

この調査は、文部科学省が毎年4月、全国の小中学校の最上級生を対象に実施している学力量習調査です。

本校の結果は、2教科とも国や都の平均正答率を上回っています。また、無回答率が低く、粘り強く問題に取り組んだことが伺えました。課題としては、国語科では、本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する問題や文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかをみる問題、数学科では図形の証明問題や事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題などにやや課題がみられました。

生徒質問紙（意識調査）では、「自分にはよいところがある」が79.9ポイントで東京都の平均から3.5ポイント低く、「困りごとや不安を先生や学校にいる大人に相談できるか」が61.9ポイントで東京都より5.2ポイント低かったことが課題であると捉えています。一方で、「学校に行くのは楽しいか」は87.3ポイントで東京都より4.3ポイント高く、「将来の夢や目標はあるか」が66.6ポイントで東京都より2.2ポイント高いという結果でした。今後、こうした調査の結果を活用し、生徒一人一人の学力量習向上や、自己有用感の向上に取り組んでまいります。ご理解ご協力をお願いいたします。



## 大泉中生の活躍



1	陸上部	第70回全日本中学校通信陸上競技大会 男子共通 砲丸投げ	第8位	田中 朝陽
2	吹奏楽部	第64回東京都中学生吹奏楽コンクール	銀賞	
3	ソフトボール部	2024年度 第20回NIIZA馬場 中学女子交流戦	優勝	
4	バドミントン部	第77回練馬区民スポーツ大会 バドミントン 女子一部ダブルス	3位	中谷 美月 藤井 千倭
5	個人	第50回東京都中学校新人テニス選手権 第3ブロック大会	準優勝	榊原 朋希